

甲南大学の
すべてがわかる!

最新情報はココでチェック!

甲南大学の「今」をお届け!

受験生向け情報サイト

甲南 Ch.

今すぐ
チェック ▶



<https://ch.konan-u.ac.jp>



入試やキャンパス情報などの情報が満載! /



POINT 1

最新のコンテンツ
随時更新中

POINT 2

入試のポイントを
わかりやすく解説

POINT 3

甲南大学の
魅力がわかる

学部学科の情報や動画もチェック!

甲南大学 HP [法学部]



学部の学びを
今すぐチェック ▶



<https://www.konan-u.ac.jp/faculty/law/>

甲南大学 YouTubeチャンネル



甲南大学の魅力を
動画でチェック ▶



https://www.youtube.com/channel/UCFwJplvfyDU_LZKr2wbWPw

最新の情報は SNSでチェック!

甲南大学のリアルな
キャンパスライフをお届けします

Instagramはこちら ▶



<https://www.instagram.com/konandaigaku/>

甲南大学の魅力やイベント情報を
公式キャラクター「なんぼーくん」
がつぶやきます

Xはこちら ▶



<https://x.com/konandaigaku>

甲南大学を志望する受験生へ
大学や入試の情報を発信します

LINE登録はこちら ▶



<https://line.me/R/ti/p/68rnuNWVQo>

岡本キャンパス 周辺Map



大阪・神戸の両都市から
アクセス良好

主要駅から岡本キャンパスまでの所要時間

三宮から 約17分	神戸三宮	阪急神戸線 特急7分	阪急岡本	徒歩 10分
大阪から 約29分	大阪梅田	阪急神戸線 特急20分	阪急岡本	徒歩 10分
	大阪	JR東海道・山陽本線 新快速13分	JR摂津本山	徒歩 12分
	京都	JR東海道・山陽本線 新快速43分	JR摂津本山	徒歩 12分
京都から 約59分	京都河原町	阪急京都線 特急38分	阪急神戸線 特急17分	徒歩 12分
姫路から 約62分	姫路	JR東海道・山陽本線 新快速39分	三宮	徒歩 11分

法学部

□ 法学科



KONAN INFINITY

甲南大学
2027

甲南大学だから伸ばせる、無限の可能性。



CONTENTS

- 学部TOPICS
- ゼミ・研究紹介
- カリキュラム
- 在学生インタビュー
- KONAN DATA

法学部 [法学科]

社会の共通ルールであり、企業でもコンプライアンスなどで注目されている法。
法を知り、その精神を理解して、甲南大学ならではの学びで社会の安心を守る人材をめざします。



取得できる資格

- 中学校教諭一種免許(社会)
- 高等学校教諭一種免許(地理歴史/公民)

めざす進路

- 企業・団体
- 国家公務員
- 国税専門官
- 地方公務員
- 消防士
- 警察官
- 中学校・高等学校教諭

キャリアデータはP.10へ

甲南大学ならではの、学びのポイント

学部TOPICS

自分の目的に応じて選択できる甲南大学ならではの彩り豊かな教育プログラム、「彩り教育」をもとに学びを展開しています。

彩り教育について詳しくはこちら▼



<https://www.konan-u.ac.jp/rodori/>

TOPIC

01 地域で活躍できる人材を育てる 公共人材養成プロジェクト

地域活性化や街づくりなど、これからの地方の時代を担う若手を育成するため、「公共人材養成プロジェクト」を実施しています。養成するのは、国家公務員・地方公務員をはじめとした、法律の知識を生かして地域で活躍する人材。1年次後期から選抜制のゼミに参加して、自習スペースや各種講座の受講支援を受けながら、公務員試験・法律資格(司法書士・行政書士・社会保険労務士)の試験・法学検定試験などの各種試験の合格をめざして勉強を重ねます。同じ志をもった先輩や同学年の仲間とともに、互いに高め合いながら学んでいきます。



TOPIC

02 理論と実務を結びつける講義、 「自治体のしくみと仕事」

法学・政治学について理論的・体系的に学ぶとともに、社会で法律や政治がどう機能しているのかを実践的に学ぶ機会を設けています。その一つが、神戸市と連携し、実務に携わる職員を招いて開講する「自治体のしくみと仕事」。地方自治体の組織はどのようなものか、公務員はどんな仕事をしているのか、自治体行政において法はどのような意味をもっているのか、日頃大学で学んでいる法的知識や法的思考がどのように生かされているのか、などについて、実際に自治体で働いている神戸市職員によるリレー形式の講義を通して学びます。



TOPIC

03 総合大学ならではの多様な学びと 法学検定試験

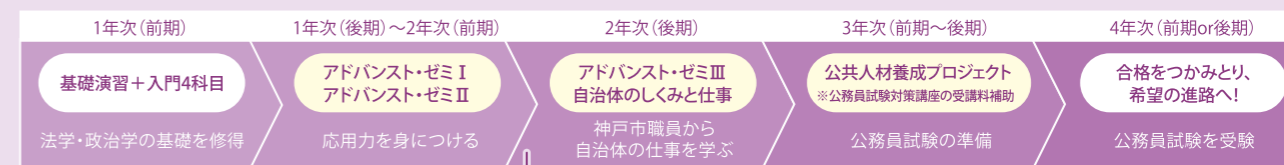
法学・政治学を学んでいくためには、その背景となるさまざまな知識が必要となります。甲南大学では総合大学という強みを生かして、経済学や経営学、心理学など多様な学びから、多くの刺激を受け、学びを深めることができます。また、社会に出る前に、法学部での学修成果を測るものさしとして、法学に関する学力を客観的に評価する全国規模の検定試験「法学検定試験」の受験を推奨。企業の入社・配属時の参考資料などとして多くの場面で利用されるこの試験の合格を、卒業証書以外のもう一つの成果として手に入れましょう。



新時代の「公共人材」を養成する多様なプロジェクト

各プロジェクトで課題解決力や実践力の養成サポートを行います。

POINT 法学会を通じて法学検定試験の受験料補助を行うとともに、団体受験も行っており、甲南大学の教室で受験することができます。



弁護士・司法書士・社会保険労務士といった法律職、県庁・県警などと協同した講座も行っています。

POINT

上記以外の法学部専門科目もバランスよく履修し、社会に貢献できる人物へ成長する

甲南大学だからできる、深い学び 〔ゼミ・研究紹介〕

法学・政治学を多方面から学んでいくために、さまざまな専門分野の教員が集まり、研究を行っています。



竹内 健互教授 刑法

ゼミでの学び合いを通して、 社会で求められる実践的スキルを育む

刑法の「共犯論」や「刑罰論」を中心に研究を行っています。犯罪といえば単独で実行されるイメージが強いですが、実際には1つの犯罪に複数の人がかかわる場合も多く、他人を手助けしたり、裏で人を操ったり、一緒になって犯罪を実行したり、共犯にもいろいろなタイプがあります。また、なぜ国家は刑罰を科すことが許されるのかという問題についても、新しい考え方をふまえながら研究しています。犯罪や刑罰は「みんな」にかかわる問題ですから、「みんな」で考えなければなりません。学び合いを通して、社会のあり方について「自分の頭」で考える力を磨いていきましょう。

POINT

- 聞き手の納得や共感を引き出す伝え方や、社会のあり方について自分の頭で考える力を磨く
- 法律が適用されるリアルな現場を自分の目と耳で体験する、刑務所などの刑事施設参観も実施

MESSAGE

ゼミで最も大切にしているのは、「学び合う」という姿勢です。法律学は、相手を説得する学問。自分の考えや感情に理屈や論拠を添える、社会人に必要なスキルも身につけましょう。

三谷 宗一郎准教授

日本の統治構造を学ぶ

映画やドラマなどの題材から 日本の政治・行政を見つめる

公共政策がつくられる過程を研究しています。ゼミでは映画、ドラマ、ドキュメンタリー、小説、ルポルタージュなどを題材として取り上げ、中央政府や地方自治体の実態について、政治学・行政学・公共政策学の観点から理解を深めます。日本の政治・行政は、どのような人々や組織が担っているのか。どのように作動し、どのような問題を抱えているのか。題材とする作品・文献を楽しみながら描写や記述を丁寧に掘り下げ、政治や行政が抱える問題の構造を見つめます。



POINT

- 映画やドラマ、ドキュメンタリーなどの身近な題材から、行政学・公共政策学の理論・概念を学ぶ
- 日本の政治・行政が抱えている問題の構造を研究し、今後の統治構造の改善に生かす

MESSAGE

みなさんに養ってほしいのは、自分の頭で考える力。疑問を抱いたら、どんなに些細なことでも大切に育み、知的好奇心を動員して、徹底的に追究していきましょう。

PICK UP!

世界中のさまざまな問題について解決法を追究する先生たちと学ぼう!

ゼミナール(研究室)一覧はP.5へ



金 ムンスク教授 [研究分野] 国際私法

ゼミテーマ

近時社会の国際化の進展に伴い生じる法的問題の解決について、国際私法上の論点を検討します



笹倉 香奈教授 [研究分野] 刑事訴訟法

ゼミテーマ

冤罪など刑事司法をめぐるさまざまな問題を研究。模擬裁判を実施し、裁判所や刑務所などの司法の現場を訪問するなどして生きた法を学ぼう



POINT

- 堅苦しいイメージもある行政法を、私たちの日常生活に関係する身近な法としてとらえ、研究する
- 膨大な研究成果の中から情報を取捨選択し、パンフレットにまとめる

岡森 識晃教授 ワインと行政法

ワインと行政法の関係を 甲南大学で研究!?

レストランやスーパーでよく見かけるワイン。一見、法とは関係なさそうですが、ヨーロッパではワインの格付けが法令で定められており、行政法と密接な関係があります。このゼミでは1年を通して、ワインの知識とともに、ワインと行政法にどのような関係があるのかを研究しています。講義で学んだ法的な知識が、社会で起きている問題や社会で運用されている制度とどのように関係しているのかを学び、法的な思考力を磨きます。

MESSAGE

みなさんの中には「法は難しい」というイメージをもっている人がいるかもしれませんが、決してそうではありません。生活と紐づけながら、法について考えていきましょう。

田中 誠人教授

民事手続法

相対する「正しさ」を分析し 自分なりの意見を伝える力を

財産権などの個人と個人の争いについて、裁判所に判断してもらい解決をめざす手続が「民事訴訟」です。私たちが研究しているのは、民事訴訟をはじめとして、裁判所で行われる手続についての法律です。こうした「民事手続法」について、議論になっている論点を中心に、どのように考えるべきか、それはなぜかを検討します。対立する問題を分析し、自分なりの意見をまとめ、それを他者に伝え説得する「リーガルマインド」を身につけていきましょう。



POINT

- 対立する問題点を分析し、意見を伝え説得する中で、リーガルマインドを身につける
- 生活に密着した民事法の学びから、社会の仕組みについての知識を深める

MESSAGE

民事法では、どちらにも言い分がある対立した2つの意見を、法律という視点でとらえ直すことが重要です。法律の考え方を知り、社会の仕組みの知識を深めていきましょう。

1年次 大学での学び方と、法学・政治学の概念を学ぶ
2年次 少人数制の専門的な演習がスタート
3年次 各自の将来像に応じた専門科目を深める
4年次 4年間の学びの集大成

大学での学び方と、専門科目を履修するうえで必要となる基本的な概念を学びます。

憲法、民法、刑法の基礎などを学び、少人数制の選択演習や特殊講義が始まります。

各自のキャリアプランに応じた専門科目を、系統的・体系的に学びます。

これまでの学びを生かして、各自がめざす進路に向けて取り組みます。

専門教育科目	演習	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎演習 □ アドバンスト・ゼミ I 	<ul style="list-style-type: none"> □ 選択演習 I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII □ アドバンスト・ゼミ II・III 	<ul style="list-style-type: none"> □ 専門演習 	<ul style="list-style-type: none"> □ 海外の法律がどうなっているのかを知り、日本の法制度への理解を深めます。 				
	専門基礎	<ul style="list-style-type: none"> □ 公法入門 □ 民法入門 □ 刑事法入門 □ 政治学入門 							
	基礎法	<ul style="list-style-type: none"> □ 法社会学 I・II □ 西洋法史 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本法史 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ 英米法 I・II □ アジア法 	<ul style="list-style-type: none"> □ 比較法文化論 □ 法哲学 I・II 				
	政治	<ul style="list-style-type: none"> □ 西洋政治史 I・II □ 日本政治史 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ 行政学 I・II □ 外交史 I・II □ 国際政治学 I・II □ 政治学原論 	<ul style="list-style-type: none"> □ 現代政治学 I・II □ 政治過程論 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本政治思想史 I・II □ 西洋政治思想史 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ グローバル地域研究 □ アジア地域研究 □ アメリカ地域研究 			
	公法	<ul style="list-style-type: none"> □ 憲法 I □ 刑法総論 I 	<ul style="list-style-type: none"> □ 刑事政策 	<ul style="list-style-type: none"> □ 憲法 II □ 行政法総論 I・II □ 国際法 I・II □ 刑法各論 I □ 刑法総論 II □ 刑事訴訟法 I 	<ul style="list-style-type: none"> □ 憲法 III □ 比較憲法 	<ul style="list-style-type: none"> □ 行政救済法 I・II □ 地方自治 	<ul style="list-style-type: none"> □ 税法 I・II □ 刑事訴訟法 II □ 犯罪学 □ 国際法 III □ 刑法各論 II 		
	民事法	<ul style="list-style-type: none"> □ 民法総則 I □ 不法行為法 	<ul style="list-style-type: none"> □ 民法総則 II □ 物権法 I 	<ul style="list-style-type: none"> □ 債権法 I・II □ 親族法 □ 労働法 I □ 相続法 □ 商法 I 	<ul style="list-style-type: none"> □ 物権法 II □ 国際私法 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ 商法 II・III・IV・V □ 民事訴訟法 I・II・III 	<ul style="list-style-type: none"> □ 労働法 II □ 社会保障法 I・II □ 経済法 I・II □ 知的財産法 I・II 		
	隣接領域情報等	<ul style="list-style-type: none"> □ 法学概論 □ 実践法学 I・II・III 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自治体のしくみと仕事 □ 特殊講義 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ 初級ミクロ経済学 □ 初級マクロ経済学 □ 経営学総論 □ 会計学総論 □ マーケティング総論 	<ul style="list-style-type: none"> □ 司法・犯罪心理学 □ 日本史概説 I・II □ アジア史概説 I・II □ 西洋史概説 I・II □ 労働経済 I・II 	<ul style="list-style-type: none"> □ 財政 □ 国際経済 □ 公共経済 □ 経営管理論 □ 経営戦略論 	<ul style="list-style-type: none"> □ 財務諸表論 □ ベンチャービジネス □ ソーシャル・キャピタル論 □ 家族社会学 □ 現代家族論 	<ul style="list-style-type: none"> □ 司法福祉論 □ ジェンダー法学 □ 環境学入門 □ 環境学 □ NPO/NGO論 	<ul style="list-style-type: none"> □ 公共社会学 □ 社会学概論 □ 社会心理学 □ 社会意識論 □ ビジネスシステム論
キャリア科目	<ul style="list-style-type: none"> □ ベーシック・キャリアデザイン □ キャリア実習 	<ul style="list-style-type: none"> □ キャリアゼミ □ プラクティカル・キャリアデザイン I 	<ul style="list-style-type: none"> □ プラクティカル・キャリアデザイン II 	<ul style="list-style-type: none"> □ アドバンスト・キャリアデザイン 					

(2026年度参考)

ゼミナール(研究室)一覧

学科詳細はHPへ
<https://www.konan-u.ac.jp/faculty/law/law/>



教員	テーマ	教員	テーマ	教員	テーマ	教員	テーマ
山田 純子 教授	商法の重要問題について理解を深める(中級レベルの事例問題を解けるようになる) [研究分野] 商法(会社法)	早瀬 勝明 教授	憲法判例を素材とした現実の事案と哲学を含む理論の架橋 [研究分野] 憲法	尾原 宏之 教授	日本政治の特質と問題を歴史的な視点で検討する [研究分野] 日本政治思想史	小畑 俊太郎 教授	政治をめぐる諸問題を歴史的かつ哲学的に考察する [研究分野] 西洋政治思想史
濱谷 和生 教授	現代の経済社会を取り巻く問題点や課題等について、独断法・競争政策を中心に掘えつつ考察する [研究分野] 現代経済法の諸問題	笹倉 香奈 教授	刑事訴訟法の主要な論点・判例を検討する [研究分野] 刑事法(刑事訴訟法)	森永 真綱 准教授	刑法の判例・学説を分析する [研究分野] 刑法総論・各論全般	平野 淳一 准教授	日本の首長選挙の分析 [研究分野] 政治学(地方政治)
金ムンスク 教授	近時社会の国際化の進展に伴う生じる法的問題の解決について、国際私法上の論点を検討 [研究分野] 国際私法	田中 誠人 教授	民事訴訟法を中心とした判例および論点についての解釈論的研究 [研究分野] 民事手続法	篠原 永明 教授	憲法の主要問題に関する学説の分析 [研究分野] 憲法	竹内 健吾 教授	刑法の解釈と適用のあり方について判例と学説を読み解きながら検討する [研究分野] 刑法
住田 英穂 教授	財産法の重要論点について深く掘り下げ判例を分析・批評し、民法学史上、重要な論文に接していく [研究分野] 民法(財産法)	岡森 謙児 教授	ワインと行政法の関係を研究する [研究分野] 行政法・環境法	橋口 祐介 教授	民法の現代化について調査・検討をおこなう [研究分野] 民法(財産法)	益澤 彩 講師	民事に関する重要判例の研究 [研究分野] 民法
山本 真知子 教授	会社法・金融商品取引法について具体的な事例を題材に理解を深めていく [研究分野] 会社法・金融商品取引法	金丸 義衛 教授	財産法の重要問題について、判例の分析および主要学説などの検討をおこなう [研究分野] 民法(損害賠償法)	三谷 宗一郎 准教授	日本の政治・政策過程について調査・分析する [研究分野] 行政学	杉井 俊介 准教授	具体的な事例を題材として行政法の諸問題について学ぶ [研究分野] 行政法
櫻井 智章 教授	憲法の主要問題について、判例・政府見解に即して検討する [研究分野] 憲法	阪上 真千子 教授	ヨーロッパの法文化と歴史 [研究分野] 西洋法史	中井 伊都子 教授	模擬裁判を通じて国際紛争への国際法の適用の可能性を検討する [研究分野] 国際法	高橋 秀明 講師	実践的問題と実定法上の基礎的問題を法哲学の観点から検討する [研究分野] 法哲学
池田 佳隆 教授	現代の国際社会の諸問題の考察 [研究分野] 国際政治学	松原 英世 教授	刑事政策学や犯罪学の諸研究を通して研究の方法を学ぶ [研究分野] 刑事政策学	桑岡 和久 教授	契約や相続など、日常の生活にも関わる民法の問題を扱う [研究分野] 民法(消費者契約)		

(2026年度)

授業 PICK UP



アドバンスト・ゼミ III

法学部では、公務員や法律専門職をめざす学生向けに「公共人材養成プロジェクト」を実施しています。その中核となるアドバンスト・ゼミは、1年次から段階的に法的思考力を養う少人数制の授業。本授業では受講生が実際の事例をもとにチームで議論を重ね、法律を社会でどう生かすかを実践的に学びます。

少人数での深い議論を通じて 法的・論理的な視点を身につける

法学部 法学科 4年次 松井 琴穂さん
 兵庫県立明石北高校出身

公務員として国民のために働きたいと考え、手厚いサポート制度のある甲南大学を選びました。2年次後期に履修したアドバンスト・ゼミIIIでは、6人の受講生が2チームに分かれ、実際の行政訴訟の事例について議論。輸入された刊行物への規制が表現の自由や検閲に当たるかどうかを、判例を調べながら法的根拠を示して議論を深めました。意識の高い仲間と少人数で学ぶことで、事実を正確に理解し、矛盾なく判断する力が身についたと思います。卒業後は国家公務員として労働局に勤務予定です。大学で培った法的・論理的思考力を生かし、国民に寄り添った公共サービスの実現に貢献したいと考えています。



甲南大学だからできた私たちの無限大

My KONAN Style

在学生インタビュー

先輩たちは、4年間の学びの中で何を感じ、何を得て、何をめざしているのか。

甲南大学だからこそできる、リアルな体験を聞きました。

法律に関連する資格を取得し 誰かを支える専門職をめざしたい

法学部 法学科 2年次 三又 貴文さん
兵庫県・相生学院高校出身

Style 1

Q 今、特にがんばって取り組んでいるのは？

法律の専門知識が生かせる資格取得を目標にしています。2年次には、宅地建物取引士と行政書士の試験に挑戦。「アドバンス・ゼミ」をはじめ、公法も民事法も講義をベースにしっかり学ぶことで、試験にも十分対応できました。ここからさらに勉強に励み、司法書士や司法試験もめざしていきたいです。

Q 甲南大学に入学して良かったと思うことは？

多くの刺激を自分の成長につなげられる環境で学べることです。資格取得という同じ目標をもつ友人3人と、自主ゼミを結成。授業の復習や試験対策として、一緒に勉強しています。また、副専攻制度を利用してスポーツ・健康科学についても学修。高い知識やスキルが身につく、自分の可能性も広がります。

Pick Up

副専攻制度

所属する学部・学科の課程に加えて、興味・関心のある分野を学修する制度。国際言語文化副専攻とスポーツ健康副専攻があります。



自主ゼミの仲間と勉強に集中!

法律の観点から掘り下げることで 国内外の歴史への理解が深まる

法学部 法学科 4年次 曾根 すみれさん
大阪府立刀根山高校出身

Style 3

Q 法学部に進んだ理由は？

高校時代、法学部出身の歴史の先生が多かったことから興味をもちました。甲南大学に決めたのは、地理歴史・公民の教員免許が取得でき、教職をめざす学生へのサポートがとても手厚かったから。海外の法律や法制史について学ぶ授業も受講することで、より深く世界史を理解できるようになったと感じます。

Q ゼミで取り組んでいる研究テーマは？

歴史と法の関係を学ぶゼミで、中国の科挙を中心としたアジアの教育制度を研究しています。科挙とは昔の中国で行われていた官僚を實力試験で選抜する制度。その歴史や実情を探ること、現在問題となっている経済力や地域によって生じる教育格差について考えを深め、レポートに仕上げました。

Pick Up

専門研究レポート

個々のテーマに従って研究を進めます。レポートを作成する前に、ゼミ内でレジュメを発表し、研究をブラッシュアップしていきます。



レジュメはわかりやすくなるように工夫して作成しました

学びの機会を自ら選択しながら 弁護士への道を着実に前進中

法学部 法学科 3年次 松岡 杏夏さん
大阪府立八尾高校出身

Style 2

Q 甲南大学らしさを感じるポイントは何？

法を通じて社会の中で正義を実現できる弁護士をめざして法学部に進学。先生をはじめ同じ志をもつ先輩や同期と密に意見交換できるのは、大規模過ぎず、距離感が近い甲南大学ならではの魅力だと感じています。自主ゼミにも参加し、法科大学院受験に向けた基礎知識の補強や論述の練習に取り組んでいます。

Q 特に印象に残っている授業は何ですか？

専門演習(ゼミ)で行った、法律の理論を実践的に活用することを目的とした「模擬裁判」です。私は弁護を担当し、事案の整理や主張の道筋などを仲間と議論しながら進めました。法律を「学ぶ」だけでなく「使う」ことの難しさと面白さを実感!多角的な問題解決力や論理的な考えをまとめる力も磨きました。

Pick Up

模擬裁判

法廷教室を使って、裁判官、弁護士、検事など、学生たちが役割を演じながら裁判の流れや手続などを実践的に学びます。



たくさんの学びを得た模擬裁判

公務員をめざす仲間と 高め合いながら勉強に励む日々

法学部 法学科 1年次 白川 礼舜さん
兵庫県立太子高校出身

Style 4

Q 1年次で、特に面白いと感じた授業は？

犯罪の捜査や起訴、刑罰の執行といった刑事手続について学ぶ「刑事政策」です。ことばとしては知っていても、手続の流れや問題点などわからないことばかり。犯罪の原因や予防についても考えることができ、「刑法」や「刑事訴訟法」などにも興味広がりました。2年次からの授業にも、期待が膨らみます。

Q 甲南大学 法学部ならではの感じる魅力は何？

公務員志望者をサポートしてくれる環境が整っていることです。1年次後期「アドバンス・ゼミI」では、問題を実際に解いて学んでいます。3年次からは「公共人材養成プロジェクト」に参加し、確実に合格をめざしています。将来の外国語対応を想定し、留学生との交流も積極的に行っています。

Pick Up

グローバルゾーン「Porte」

2号館1階に位置する、学内の留学生と気軽に交流できる場所。さまざまなアクティビティやイベントにも参加できます。



国際交流センターやPorteで留学生と交流

甲南大学だから実現できる、理由がある

KONAN DATA

[法学部 編]

甲南大学に集まる学生や、学びの特徴は? 数字から見えてくる、大学の姿を紹介します。



1 FACULTY DATA

法学と政治学を中心に、社会を見る力を育てています

公務員試験対策講座 実施数 (2025年度)

一例【地上・国家公務員コース(春・秋講座)】



実施している講座

- 地上・国家公務員コース
- 警察官・消防官コース
- 市役所(教養)コース
- 行政専門科目コース
- 1・2年生のための公務員・民間企業筆記試験対策講座

POINT

年間を通して数多くの講座を開講
1・2年次から参加できるコースもあります
受講料補助など、公務員をめざす学生を応援!

POINT

手厚い支援で毎年、多くの公務員を輩出
各種講座で徹底的に対策しています

公務員試験 合格者数 (2026年1月現在)



公務員就職率 (2024年度卒業生)



POINT

1割以上の学生が、
公務員として
就職しています



2 BASIC DATA

公務員をはじめ、さまざまな業種で卒業生が活躍しています

卒業生就職率 (2024年度卒業生)



POINT

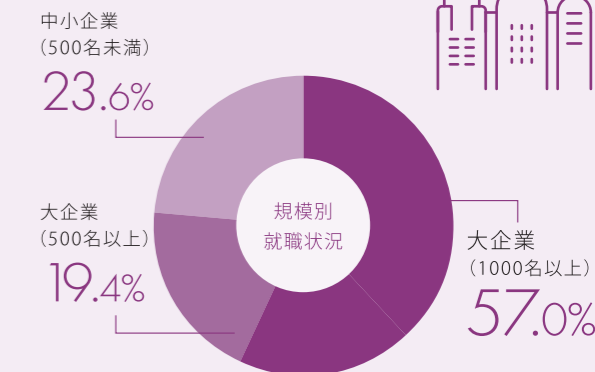
区役所や県庁、警察など、
行政や公務員にかかわる
インターンシップに
挑戦できます

協定インターンシップ (2025年度)

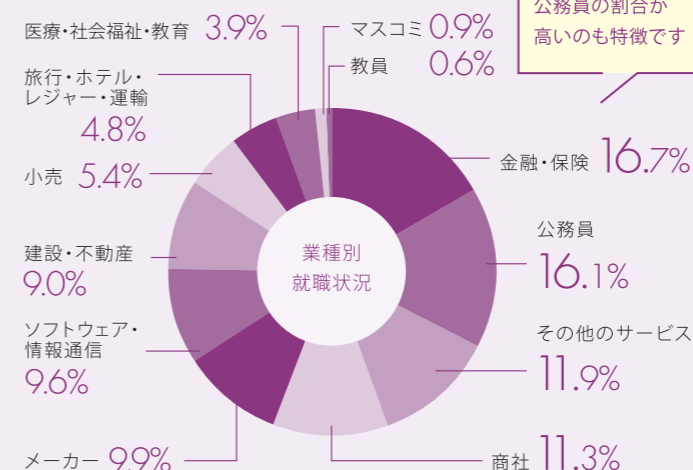
- 受け入れ先(一例)
- 大阪府庁
 - 兵庫県庁
 - 兵庫県警察本部
 - 神戸市東灘区役所 など



規模別就職状況 (2024年度卒業生)



業種別就職状況 (2024年度卒業生)



POINT

金融・保険業界をはじめ
さまざまな業種へ就職。
公務員の割合が
高いのも特徴です

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

主な進路 (2023~2025年3月卒業生)

- 就職先
- 伊藤忠エネクス(株)
 - (株)ADKホールディングス
 - NTT西日本(株)
 - 大阪高等裁判所
 - 大阪国税局
 - 大阪府
 - 大阪労働局
 - (株)大林組
 - 関西電力(株)
 - 京都市役所
 - 警視庁
 - 神戸市教育委員会
 - 神戸市消防局
 - 神戸市役所
 - (株)神戸製鋼所
 - 神戸地方検察庁
 - 国土交通省近畿地方整備局
 - 積水ハウス(株)
 - ソフトバンク(株)
 - 宝塚市役所
 - 東海旅客鉄道(株)
 - 日本年金機構
 - 日本生命保険(相)
 - (株)バンダイ
 - 兵庫県教育委員会
 - 兵庫県警察本部
 - 兵庫県庁
 - 防衛省
 - 法務省
 - 三井住友海上火災保険(株)
 - (株)三井住友銀行
 - (株)三菱UFJ銀行
 - (株)リクルート
- 大学院進学先
- 関西学院大学大学院
 - 関西大学大学院
 - 慶應義塾大学大学院
 - 甲南大学大学院
 - 兵庫教育大学大学院
 - 立命館大学大学院

GRADUATE'S INTERVIEW



さまざまな価値観をつなげる力を学んだ大学生活
今それが仕事の現場で役立っています

NTT西日本株式会社(旧:西日本電信電話株式会社) 勤務
中野 咲香さん 法学部 法学科 2022年度卒業

パンデミックの状況下で学生生活を経験したことで、社会の変化に大きな影響を受けることのないインフラ業界に関心を持つようになりました。NTT西日本に入社したのは、震災などが起きた際、最前線で活躍する企業だからです。日々の生活の「あたりまえ」を支えることに誇りを持って働いており、常に最良の結果を出すことを心掛けています。大学では先生との距離が近かったこともあり、質問しやすい環境でした。そこでの経験を職場でも実践し、上司との関係づくりに役立っています。今後の希望は、ダイバーシティの部署で働くことです。甲南大学で経験した多様な学部生との交流や幅広い学びをベースにして、企業の信頼度を高めるべく努めていきたいと考えています。